

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : University at Albany, SUNY

留学期間 : 平成 28 年 9 月 1 日 ~ 平成 30 年 5 月 30 日

(留学中の生活について)

最初の学期ではオンキャンパスの寮で住んでいました。オンキャンパスなので、夜遅くまでのイベントに参加する事やジムに行く事もできました。最初の学期では6コースを取りましたが、勉強面と学校外の活動とのバランスは大変でした。日本と違って、指定されたリーディングの量が多いので、週末などの時間はほとんどリーディングに取られます。時間がある時にはオルバニーから車で30分の所にあるSaratoga Countyでリラックスする事もできました。バスで3時間かけ、ニューヨークシティーにもよく行きました。州立大学の学生なので、MOMAなどの美術館も無料で入れます。秋が終わる時期には夏時間が終わって1時間遅くなり、4時半ですでに真っ暗になりますが、季節の変わり目で気候変動が大きいので、体調も気分も落ち込み、何度もカウンセリングセンターに行きました。

その後の冬休みはオンラインでのウィンターコースを取りながらタイに旅行しました。旅行中、朝はバンコクに出掛けたり、夜は時差を気にして勉強したりしながら課題を提出しました。

春学期は1月末にスタートし、この時に副専攻をコンピューターサイエンス専攻に変更し、プログラミングを始めました。2月は特に寒くて、Snow Alarmで学校が休講することも何度がありました。3月のSpring Breakを使ってアメリカの政治の中心地ワシントンDCやアメリカ建国の地フィラデルフィアに行きました。

留学中に気になったのは、クラスメートの年齢層が幅広いことです。社会に出てから新たにもう一つの学士号を取る人が多いので、その人たちからすごく貴重なアドバイスや経験談を聞かせていただきました。

(これから留学する人へのアドバイス)

留学中の時間が経つのはすごく早いです。毎日を大切にしていかないと、すぐに一日が終わってしまうことが何度もありました。実は、ダブルメジャーなので、1年目の夏休みもサマーコースを取り、3カ月間毎日朝早くに起きて一日の準備をし、そして夜まで忙しい生活を送りました。留学してから一年経って理解したことは、限られた時間内に最大限にオープンな心で、どんな経験も受け入れ吸収して行くことが大切だということです。それができれば、素晴らしい留學生活送れると思います。